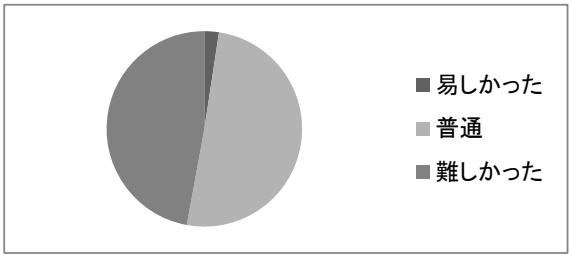
人材育成評価制度アンケート　主な結果 【対象：被評価者】

1. 業績目標を設定してみて感じた難易度

・易しかった：5人

・普通：105人

・難しかった：98人



難しかった理由（複数回答）

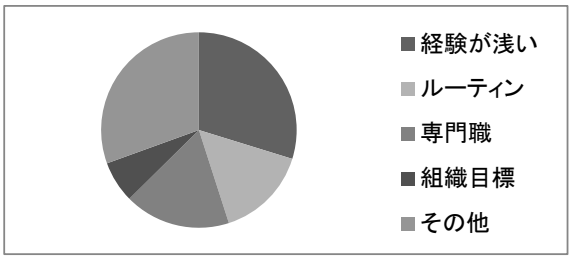
・今の業務に関する経験が浅いため：39人

・ルーティンワークが中心であるため：20人

・専門職であるため：23人

・組織目標を意識できていないため：9人

・その他：40人



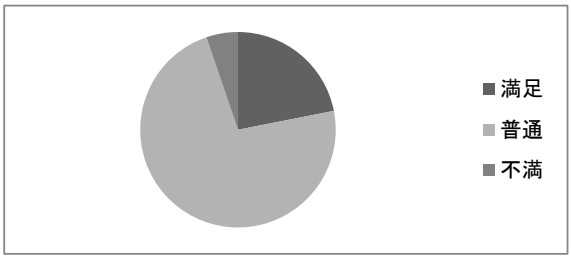
・具体的な数値設定が難しいと感じました　・窓口接客業務が多く決まった書類処理及び現場検査等が大半を占めるため　・今年度から、具体的に記載することが求められたが、現在の業務が数値で表せることがないため、記載例のように設定が出来なかった。　・多岐にわたる業務のどれだけを目標にするのか、懸案事項のようなものは業務目標にできず、簡単なもののみを目標にしてしまう部分。　・目で見て達成したと分かるような目標設定をするのが難しかったため　・全ての業務が業績目標の設定になじむものとは限らない。　・保育の仕事は、子どもの姿をもとにして計画を立て、子どもの思いや願いをもとに流動的に組み立てたり柔軟に臨機応変にすすめたりしていくので、「具体的に」内容を記入することが難しかった。

2. 期首面談を受けてみての満足度

・満足：46人

・普通：153人

・不満：11人



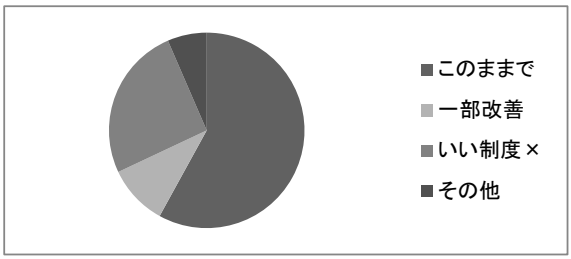
3. チーム評価の制度に対して、どのように感じていますか

・このままで良い：116人

・一部改善してほしい：20人

・いい制度とは思わない：51人

・その他自由入力：13人



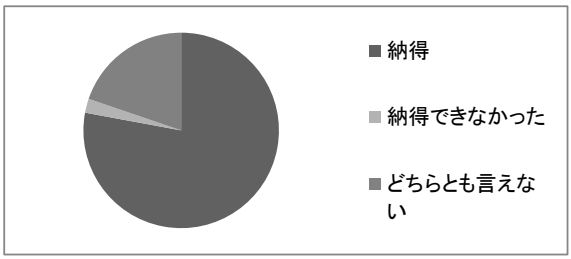
・毎年、同じようなチーム目標になっていると思う。　・制度自体は必要だが、活かされていないように思う。　・嘱託職員が半数を占め、制度の効果があまり期待できないと思う。　・あまり機能していると思えない　・趣旨は理解するが、現状のやり方では実効性があまりないように感じる。　・使用する側の意識の問題　・制度が一人歩きしており、機能していない。

4. 評価結果の納得度

・評価結果に納得できた：134人

・評価結果に納得できなかった：4人

・どちらとも言えない：34人

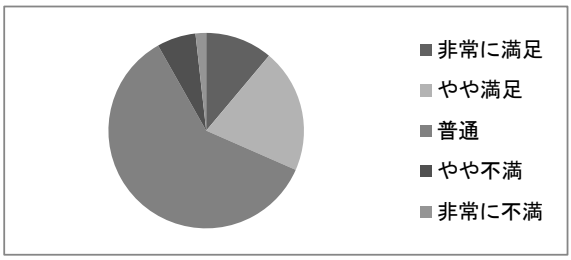


5. 育成面談全体を通じての満足度

・非常に満足：19人

・やや満足：35人

・普通：103人

・やや不満：11人

・非常に不満：3人